

宇美町

エコトリコ

(2019年広報7月号)



今回はスウェーデンの環境活動家、
グレタ・トゥーンベリさん(16歳)の
思いと行動のお話です。

グレタさんは、地球環境の危機を招
いた大人たちに激しい怒りを感じ、「若
分子の運動量は活発になります。海
水も例外ではありません。以前にも書
うとしていることに怒るべきだ!!」と
言い、昨年、抗議行動の一環として学
校を休んでまでスウェーデン政府に気
候変動対策の強化を求め、一人で座り
込みを行いました。その「思いと行動」
に共感した若者たちが増え、全世界的
に広がりを見せています。

ません。

今後、二酸化炭素の排出に伴う気温
上昇が原因の災害が増えることが予想
されています。温度が上昇するほど、
グレタさんは、地球環境の危機を招
いた大人たちに激しい怒りを感じ、「若
分子の運動量は活発になります。海
水も例外ではありません。以前にも書
うとしていることに怒るべきだ!!」と
言い、昨年、抗議行動の一環として学
校を休んでまでスウェーデン政府に気
候変動対策の強化を求め、一人で座り
込みを行いました。その「思いと行動」
に共感した若者たちが増え、全世界的
に広がりを見せています。

私たちの地球温暖化防止のための
「思いと行動」は子どもたちにしっか
りと受け継がれていきます。
『何のために』地球温暖化防止の意識
を高めなければならぬのか?
子どもや孫たちの未来のため、全人
類の未来のため!!にあります。私たち
一人一人は微力であっても無力ではな
い!グレタ・トゥーンベリさんは教え
てくれています。

私たちの地球温暖化防止のための

グレタさんは、「世界をリードするな
どと言いながらひどく優柔不断だ!!」
と日本の現状を批判しています。地
球温暖化は決して他人事ではなく、全
人類共通の懸念事項となっているので
す。グレタさんの「思いと行動」は多
くのヨーロッパ各国政府を動かした
温暖化対策の予算増額に貢献したり、
ローマ法王と面会したり、今年のノー
ベル平和賞の候補者にノミネートされ
るほどだそうです。

私たちの地球温暖化防止のための

飛行機や自動車などの移動手段か
ら、家庭の電化製品に至るまで、今や
「省エネ」は欠かせないものとなっ
ていますが、決してコストダウンだけ
目を向けるのではなく、二酸化炭素の
排出量をもっと真剣に考えないとい

飛行機や自動車などの移動手段か
ら、家庭の電化製品に至るまで、今や
「省エネ」は欠かせないものとなっ
ていますが、決してコストダウンだけ
目を向けるのではなく、二酸化炭素の
排出量をもっと真剣に考えないとい

飛行機や自動車などの移動手段か
ら、家庭の電化製品に至るまで、今や
「省エネ」は欠かせないものとなっ
ていますが、決してコストダウンだけ
目を向けるのではなく、二酸化炭素の
排出量をもっと真剣に考えないとい

飛行機や自動車などの移動手段か
ら、家庭の電化製品に至るまで、今や
「省エネ」は欠かせないものとなっ
ていますが、決してコストダウンだけ
目を向けるのではなく、二酸化炭素の
排出量をもっと真剣に考えないとい

飛行機や自動車などの移動手段か

飛行機や自動車などの移動手段か

飛行機や自動車などの移動手段か

文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆